

令和 2 年 8 月 2 0 日
小平市介護保険運営協議会
資 料 5

令和元年度 地域支援事業 概要

介護予防・日常生活支援総合事業: 1 介護予防・生活支援サービス事業

(1) 訪問型サービス事業

① 事業内容

要支援と事業対象者に対して、従来の訪問介護に相当する身体介護や生活援助をはじめ多様なサービスの提供を行います。

② 実績

I 予防給付の訪問介護相当サービス、小平市独自基準のサービス(緩和した基準)

(国民健康保険連合会請求情報 当月利用分の合計件数)

	旧国基準	市独自基準	合計
令和元年度	5798件	1696件	7494件

II 短期集中型の訪問による相談指導

人数	回数
5 人	27回

(2) 通所型サービス事業

① 事業内容

要支援と事業対象者に対して、従来の通所介護に相当する機能訓練をはじめ、多様なサービスの提供を行います。

② 実績

I 予防給付の通所介護相当サービス、小平市独自基準のサービス(緩和した基準)

(国民健康保険連合会請求情報、当月利用分の合計件数)

	旧国基準	市独自基準	合計
令和元年度	10421件	1122件	11543件

II 短期集中型の通所による機能訓練

コース数	延回数	参加実人数
6	90回	47 人

III 住民主体によるサービス

対象団体	実績	延べ利用人数
5団体	4団体	275人

(3) 介護予防ケアマネジメント事業

① 事業内容

地域包括支援センターの介護支援専門員が、介護予防を目的として訪問型サービスと通所型サービスが、包括的かつ効率的に提供されるよう必要な援助を行います。

② 実績

令和元年度 延べ10,327件(国民健康保険連合会請求情報)

(4)高額介護予防サービス費相当事業

①事業内容

介護予防・日常生活支援総合事業によるサービス利用に係る利用者負担の家計に与える影響を考慮し、高額介護予防サービス費に相当する事業を実施します。

②実績

令和元年度 延べ335件

(5)高額医療合算介護予防サービス費相当事業

①事業内容

介護予防・日常生活支援総合事業によるサービス利用に係る利用者負担の家計に与える影響を考慮し、医療保険の自己負担額を合算した額を考慮した高額医療合算介護予防サービス費に相当する事業を実施します。

介護保険と医療保険それぞれの月の限度額を適用後、年間(8月～翌7月)の利用者負担額(同時世帯で同じ医療保険に加入している利用者がある場合は世帯合算額)を合算して定められた限度額を超えた時は申請により超えた分があとから支給されます。

②実績

令和元年度 延べ57件

(1)地域介護予防活動支援事業

①事業内容

高齢者が年齢や心身の状況等にかかわらずに参加できる住民主体の通いの場等の介護予防活動の地域展開を目指して、ボランティア等の人材の育成、多様な地域活動組織の育成及び支援、社会参加活動を通じた地域活動の実施を行います。

②実績

I 高齢者交流活動支援事業

高齢者を主体とした交流活動の運営に係る相談支援、情報提供、研修及び団体相互の連絡調整、サロン の開始及び運営に係る経費の助成

相談支援団体数	13団体
補助執行団体数	12団体

II 高齢者交流室運営事業

小平第二小学校の交流室を平日の10時～15時まで開室し、創作活動などを実施

開室日数	利用延人数	1日平均
217日	3,324	15.3人

※3月は新型コロナ感染拡大防止のため閉室

III ライフサポーター養成事業

○介護予防リーダー養成講座

・高齢者支援課や地域包括支援センターが行う介護予防講座の運営と一緒に関わったり、所属するサークルや集まり、介護予防に関する集まりを独自に実施するなどの担い手を養成する。

(主な内容)介護予防に関する知識(運動や認知症予防など)の講座、「小平いきらく体操」の実技・習得、地域包括支援センター職員との情報交換

とき	実施場所	受講者	登録者
令和元年6月4日～7月23日(火曜・全8回)	福祉会館	14人	14人
令和2年1月20日～3月16日(月曜・全8回)	福祉会館	23人	—

※令和元年度末累計 受講者65名 登録者59名(2回目は新型コロナ感染拡大防止のため講座中断)

(合同交流会)

とき	テーマ	受講者
11月11日	応急救護訓練の実施、いきらく筋力アップ体操の説明・体験	25人

※3月に実施予定分は新型コロナ感染拡大防止のため中止

○認知症支援リーダー養成講座

・認知症についてや認知症の方への関わり方等、認知症の方やその家族への適切なサポートや認知症カフェ等でのボランティアが行える人材を育成する。

(主な内容)認知症の人への接し方のコツ、認知症の方や家族の気持ちを理解する、認知症の病気を理解し地域で支えていく、話かけ体験、今後の活動について等

とき	実施場所	受講者	登録者
9月10日、24日、10月23日、29日、11月6日	中央公民館、健康福祉事務センター	20人	19人

※令和元年度末累計 受講者212名 登録者165名

(フォローアップ講座)

とき	テーマ	実施場所	受講者
12月4日	認知症になっても幸せに暮らすために地域で支える 講師: 日本社会事業大学 下垣 光 教授	福祉会館	31人

※3月17日に実施予定分は新型コロナ感染拡大防止のため中止

IV介護予防ボランティアポイント

・高齢者のボランティア活動を通じた、自主的な介護予防の取り組みに対してポイントを付与する。ポイント対象事業1回の参加で1ポイント、3ポイントごとに小平ベリースタンプと100枚交換。

ポイントカード発行	ポイント交付
40名	994PT

・令和元年度末類計 302名 3,121ポイント

(2)介護予防把握事業

①事業内容

地域の実情に応じ、効果的かつ効率的に収集した情報等を活用して、閉じこもり等の何らかの支援を要する者を早期に把握し、住民主体の介護予防活動へ繋げていきます。

②実績

I 高齢者見守り事業

○令和元年度末時点

地域包括支援センター	申請による見守り者数	包括独自の見守り者数	合計人数	訪問	電話	確認件数
けやきの郷	55人	1人	56人	184回	27回	211回
小川ホーム	26人	11人	37人	167回	80回	247回
中央センター	1人	15人	16人	44回	32回	76回
多摩済生ケアセンター	28人	23人	51人	190回	69回	259回
小平健成苑	24人	21人	45人	136回	100回	236回
合 計	134人	71人	205人	721回	308回	1,029回

II 実態把握調査

要介護1以上の介護認定を受けていない、病院、施設入所をしていない市民のうち69歳、72歳、75歳、78歳、81歳、84歳、87歳以上の高齢者にアンケート調査。

対象者数	回収数	回収率
13,727件	9,915通	72.2%

III 実態把握調査未回答者等訪問

実態把握調査(生活状況アンケート)回答者のうち一定要件を満たす方と未回答の中から、包括支援センターが各100名程度を訪問する。

令和元年度 訪問(実施予定)件数 479件

※新型コロナ感染拡大防止のため、2月26日より訪問中断(令和元年度末時点158件訪問)

(3)地域リハビリテーション支援事業

①事業内容

リハビリ専門職が、地域包括支援センターと連携しながらの訪問や、地域ケア会議、サービス担当者会議、通所介護事業所、住民運営の通いの場での介護予防の取組を総合的に支援することで、地域における介護予防の取り組みの強化を行います。

②実績

申込件数	33件
実施件数	29件

(4)介護予防普及啓発事業

①事業内容

介護予防活動普及啓発のために、パンフレットの作成・配布、介護予防講座、有識者等による講演会等を開催します。

②実績

I 介護予防講演会

とき	実施場所	参加人数	テーマ	講師
2月7日	福祉会館	68人 (うち市民46人)	健康長寿の秘訣 ～キーワードは運動と仲間～	倉地洋輔(理学療法士)

II いきいき介護予防教室

◎総合コース(運動4コマ、歯科1コマ、口腔1コマ)

とき	実施場所	回数	参加人数	延参加人数
5月16日～6月27日	福祉会館	6	26人	126人
10月17日～11月21日	ほのぼの館	6	21人	87人
1月22日～2月26日	東部市民センター	6	14人	64人
合計	3コース	18回	61人	277人

III お口の機能アップ教室

◎(1日目:口腔体操、2日目:歯科講話、口腔体操、3日目:口臭、栄養講話、4日目:栄養講話、口腔体操)

とき	実施場所	参加実人数	参加延人数
9月5日、12日、19日、26日	小川1丁目地域センター	15人	52人
11月21日、28日、12月5日、12日	大沼地域センター	11人	32人
合計	2コース	26人	84人

◎出張教室

とき	受講者	参加人数
5月15日	熟年いきいき会	27人
6月20日	出張教室(シルバー大学49期生)	11人
1月27日	小川町1丁目ガーデンハイツ	11人
合計	3回	49人

Ⅳ気軽に元気アップ介護予防運動講座

実施場所	とき	回数	参加延人数	参加実人数
さわやか館	毎週火曜日 13時30分～15時00分	44 回	1,344人	64人
喜平図書館	毎週火曜日 9時30分～10時30分	43 回	3,369人	153人
	毎週火曜日 10時40分～11時40分			
ほのぼの館	毎週火曜日 10時00分11時00分	43 回	2,860人	112人
	毎週火曜日 11時10分～12時10分			
	毎週火曜日 13時30分～14時30分			
上水本町地域センター	毎週木曜日 14時00分～15時30分	44 回	1,597人	66人
花小金井南公民館	第1・3金曜日 10時00分11時30分	21 回	467人	48人
中島地域センター	第2・4木曜日 10時00分～11時30分	21 回	587人	64人
福祉会館	第2・4月曜日 14時00分～15時30分	21 回	840人	78人
鈴木地域センター	第2・4火曜日 10時00分11時30分	19 回	401人	41人
あおぞら福祉センター	第1・3火曜日 10時00分11時30分	22 回	430人	33人
合計	9会場	278 回	11,895人	659人

Ⅴ介護予防講座(地域包括支援センター実施分)

担当包括	回数	実施場所	参加延人数	参加実人数	テーマ
小平健成苑	11回	東部市民センター集会室	136人	64人	介護予防教室
	10回	小平健成苑多目的ホール	121人		
多摩済生	11回	大沼公民館	309人	46人	自宅でできる介護予防体操
中央	11回	福祉会館 小ホール	296人	66人	ころばん体操教室
小川ホーム	11回	小川西町中宿地域センター	385人	91人	介護予防講座
	11回	学園西町地域センター	178人		
けやきの郷	43回	都営たかの台アパート集会所	893人	124人	ねたきりにならないための運動習慣
	45回	上水新町地域センター	1216人		
合計	8会場 153回		3534人	391人	

Ⅵ認知症予防教室

◎入門編

とき	実施場所	参加人数
4月24日	健康福祉事務センター	42人
8月29日	東部市民センター	15人
合計	2回	57人

◎実践編

とき	実施場所	開催回数	参加人数	延参加人数
5月15日～8月21日	健康福祉事務センター	12回	15人	172人
9月12日～12月5日	東部市民センター	12回	7人	83人
合計		24回	22人	255人

◎フォローアップ編

とき	実施場所	開催回数	参加人数	延参加人数
9月4日～10月9日	健康福祉事務センター	3回	15人	39人
12月19日～1月23日	東部市民センター	3回	7人	21人
合計		6回	22人	60人

◎イベント

とき	実施場所	開催回数	参加人数
6月27日	美園地域センター	1回	29人
10月2日	小川西公民館	1回	27人
2月27日	福祉会館	中止	中止
合計		2回	56人

Ⅶ認知症予防講座

テーマ:「目から鍛える認知症予防教室」

とき	実施場所	開催回数	参加人数	延参加人数
5月14日～7月2日	東部市民センター	8回	20人	136人
9月5日～10月24日	福祉会館	8回	25人	178人
10月31日～12月19日	中宿地域センター	8回	19人	121人
1月9日～2月27日	美園地域センター	8回	26人	168人
合計		32回	90人	603人

Ⅷ認知症予防講演会

とき	実施場所	参加人数	テーマ	講師
10月14日	中央公民館	48人	検診結果を認知症予防に活かそう	国立精神・神経医療研究センター 認知症センター医師 大町佳永
3月6日	中央公民館	中止	認知症予防へ向けた運動 「コグニサイズ」	セントラルスポーツ(株)介護予防事業部 大東俊彦
合計		48人		

Ⅸ広報紙発行

とき	内容
6月10日～6月14日	どうしたらこの街で安心して過ごしていける?～生活支援体制整備事業の話～
12月2日～12月6日	みんなで延ばそう!健康寿命～ひとりではできないことも仲間がいればできる～

X高齢者健康音楽教室

回数	延参加人数	一回あたり人数
44	949人	21.57人

※3月実施予定分は中止

介護予防・日常生活支援総合事業:3審査支払手数料

(1)審査支払手数料

①事業内容

介護予防・生活支援サービス事業における、東京都国民健康保険団体連合会の審査に対し手数料を支払います。

②実績

審査支払件数 延べ19,348件

包括的支援事業・任意事業:1包括的支援事業

(1)地域包括支援センター運営事業

①事業内容

市内4圏域に設置された地域包括支援センターにおいて、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーが中心となり、高齢者の生活を総合的に支える様々な支援を行います。

②実績

I 地域包括支援センター活動実績

令和元年度 小平市地域包括支援センター活動報告(4～3月 速報値)

頁

		基幹型	けやきの郷	小川ホーム	多摩済生 ※1	健成苑 ※2	合計
相談者数		751	3,568	3,491	4,298	3,975	16,083
相談内訳合計		1,150	4,262	5,670	5,502	4,755	21,339
相談 内訳	自立支援サービス	給食サービス	9	33	40	68	219
		住宅改修	10	38	26	20	161
		福祉用具	34	64	15	30	205
		緊急通報・火災安全システム	4	2	9	5	33
		おむつ支給等事業	1	1	4	3	16
		高齢者見守り事業	96	318	165	298	1,165
		その他自立支援サービス等	2	20	24	21	113
	介護保険	施設サービス	83	135	231	295	873
		在宅サービス	292	1,229	1,530	1,701	6,498
		地域密着型サービス	9	0	26	6	49
		ケアマネ・ケアプランの相談	66	519	580	371	1,853
		申請等の相談	116	609	631	731	3,230
	介護予防・生活支援 サービス事業	訪問型サービス	22	7	44	8	85
		通所型サービス	31	61	94	48	257
	一般介護予防事業	ADL・IADLに関する相談	2	2	70	20	107
		社会参加に関する相談	9	3	95	12	139
		症状・生活に関する相談	52	76	462	416	1,121
	認知症に関する 相談	受診・治療・服薬に関する相談	32	49	217	190	541
		認知症高齢者の外出見守りに関する相談	1	5	18	12	39
		上記以外の相談	9	33	18	108	200
	権利擁護	地域福祉権利擁護	14	44	51	30	142
		成年後見制度	19	14	69	63	172
		高齢者虐待	4	86	136	159	453
		消費者相談	5	3	65	8	82
	その他	苦情	7	44	19	9	79
		安否確認・緊急対応	12	45	48	95	250
		住環境に関する相談	27	53	163	115	380
		生活困窮者に関する相談	5	38	93	68	220
		緊急医療情報キットに関する相談	7	8	23	16	83
		医療関係	89	322	26	311	857
		他制度の相談	29	80	559	219	931
		介護者(介護疲れ、介護離職等)に関する相談	16	25	60	21	128
		上記以外の相談	39	297	59	131	768
		介護保険申請件数	95	486	641	388	2,413
		事業対象者基本チェックリスト実施	0	12	4	4	20
		実態把握に関する対応	7	7	28	27	94
ケアプラン 予防給付	要支援ケアプラン取扱件数	450	1,625	2,164	2,159	2,311	8,709
	要支援ケアプラン委託件数	122	277	799	436	751	2,385
	合計	572	1,908	2,963	2,595	3,062	11,100
	要支援ケアプラン作成委託事業者数	73	160	651	212	358	1,454
	セルフケアプラン作成件数	0	0	0	0	0	0
ケアプラン 介護予防・ 日常生活 支援事業	ケアプランA	319	1,661	2,126	2,349	2,284	8,739
	ケアプランB	0	0	0	0	0	0
	ケアプランC	0	0	0	0	0	0
	要支援ケアプラン取扱件数(委託)	27	201	603	349	552	1,732
	合計	346	1,865	2,622	2,698	2,828	10,359
	要支援ケアプラン作成委託事業者数	33	136	534	255	274	1,232
ケアマネ 業務	事業対象者	34	222	40	77	49	422
	要支援1	748	2,032	2,583	2,819	2,038	10,220
	要支援2	1,290	3,402	3,990	3,679	2,448	14,809
	申請中・退院調整等	32	262	183	577	167	1,221
	サービス担当者会議・ケース会議	110	172	472	446	540	1,740
	ケアマネ業務(合計)	2,214	6,090	7,268	7,598	5,242	28,412
包括的・継続的ケアマネジメント事業(地域のケアマネジャーに対して)							
ケアプラン作成指導・個別指導・相談		9	122	67	65	39	302
困難事例への指導助言		10	100	113	63	71	357
サービス担当者会議・ケース会議		11	31	20	16	18	96

Ⅱ 基幹型地域包括支援センターの活動実績

令和元年度 基幹型業務月間活動報告(年間)

地域包括支援センターの機能強化

		回数
小平市基幹型地域包括支援センター連絡会		12
小平市地域包括支援センター長会議		4
地域支援担当・基幹型地域包括ケース連絡会		12
職種別 連絡会	社会福祉士	11
	主任ケアマネ	12
	保健師・看護師	12
ケアプラン 指導研修	地域包括支援センター職員研修	2
	介護支援専門員研修	11
地域ケア 会議	主催	2
	参加	4
介護保険運営協議会		4
その他		1
合計		87

医療・多職種との連携

	回数
在宅医療・介護連携推進協議会	13
多職種連携研修・テーマ研修	9

地域ネットワーク構築

	回数
小平ケアマネ連絡会	3
小平主任介護支援専門員連絡会	2
その他	4
合計	9

介護予防見守りボランティア事業

	回数
事業担当者連絡会議	6
登録研修・講演会・交流会・分科会	36

困難ケース対応(実件数)

	件数	内訳					
		基幹型	けやきの郷	小川ホーム	多摩済生 ケアセンター	小平健成苑	その他
実件数	194	9	30	56	24	75	0

困難ケース対応(のべ件数)

	件数	内訳			
		電話	来所	訪問	連絡調整
虐待・困難事例介入件数	453	48	7	47	351
地域包括支援センター支援件数	219	20	7	19	173
市内他機関・ケアマネジャー等への支援	123	24	19	7	73
合計	795	92	33	73	597

困難ケース会議の開催状況

	主催	他圏域の会議への参加				
		基幹型	けやきの郷	小川ホーム	多摩済生 ケアセンター	小平健成苑
回数	14	21	14	12	15	
合計回数	14	62				

Ⅲ介護予防見守りボランティア事業

○登録研修 1日間/1コース

内容:地域の中で高齢者を守ること 講師:白梅大学講師 午頭 潤子氏

日	会場	参加者実数	登録者数
7月12日	ルネこだいらレセプションホール	43人	22人
1月10日	ルネこだいらレセプションホール	25人	11人

○講演会

とき	実施場所	参加人数	テーマ	講師
6月19日	東部市民センター	36人	人と人とのつながりが地域を支える ～大山団地の取り組みから学ぶ～	大山団地相談役 佐藤良子
11月29日	小川西町公民館	33人	人と人とのつながりが地域を支える ～大山団地の取り組みから学ぶ～	大山団地相談役 佐藤良子

○交流会

・けやきの郷

開催日	参加者数	テーマ・内容
5月21日	10人	フードドライブについて
7月16日	29人	災害ボランティアについて
9月17日	38人	一人歩き(徘徊)・認知症について
11月19日	20人	防災ミニ学習会とまち歩き
1月21日	29人	介護予防・フレイル予防
		3月予定分は中止

・小川ホーム

開催日	参加者数	テーマ・内容
4月19日	18人	交流会のテーマ決め、ボッチャ体験等
5月20日	10人	「認知症 わたしたちにできること」視聴
6月21日	20人	認知症声かけ模擬訓練について話し合い
7月19日	13人	体操・情報交換・グループワーク等
8月16日	25人	体操・情報提供・10月のまち歩きについて話し合い
9月20日	10人	いきらく体操、小平市の成り立ちや特色について、情報提供
10月18日	22人	まち歩きの達人のガイドで歩いて新発見
11月29日	12人	講演会と同時開催
12月20日	22人	体操・情報交換・グループワーク等
1月17日	9人	いきらく体操・情報提供、「街の安全見守り」について
2月21日	23人	災害シミュレーションゲーム
		3月予定分は中止

・中央センター

開催日	参加者数	テーマ・内容
5月28日	8人	情報交換会
7月30日	9人	高齢者の食について学ぶ
9月24日	8人	配食サービスについての勉強会
11月29日	5人	消費者トラブルと地域防災
1月28日	8人	介護予防・健康づくりについて
		3月予定分は中止

・多摩済生ケアセンター

開催日	参加者数	テーマ・内容
5月9日	28人	特殊詐欺について、配食弁当の試食会
7月11日	19人	傾聴について～信頼関係を築く話の聞き方～
9月12日	17人	高齢者体験、声掛け練習
11月14日	12人	まち歩き
1月9日	19人	いきらく体操・「新年会」
		3月予定分は中止

・小平健成苑

開催日	参加者数	テーマ・内容
5月15日	11人	まち歩き
7月16日	25人	ごみの出し方について
9月17日	29人	認知症についての勉強会
11月15日	18人	認知症声かけ模擬訓練
1月15日	26人	いきらく体操・「新年会」
		3月予定分は中止

交流会合計

開催回数	延べ参加人数
31回	552人

・合同交流会

開催日	参加者数	テーマ・内容
11月11日	20人	自由に聴いて話そう、～交流は豊かな会話から～（傾聴・意見交換等）

○登録者数○

（令和2年3月31日現在）

圏域	登録者			協力員			合計		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
西	42	45	87	0	9	9	42	54	96
中央西	38	46	84	3	11	14	41	57	98
中央	8	7	15	0	3	3	8	10	18
中央東	28	50	78	5	11	16	33	61	94
東	32	49	81	4	9	13	36	58	94
合計	148	197	345	12	43	55	160	240	400

○相談内容

圏域	件数	主な内容
西	7	・友人に物忘れがでてきている。道を間違えることもあるので心配との相談。ご住所が多摩済生ケアセンターの圏域であったため、多摩済生ケアセンターへ対応を依頼した。
		・半年前に引っ越してきた人が杖を持ち歩いており、立ち話をしているも元気がなく心配との相談。地域包括支援センターが訪問したが留守にしており、相談者とともに、引き続き見守りを続けていくこととする。
		・近隣に住む男性が体調を崩しており、妻が対応できない様子であるとの相談。確認したところ地域包括支援センターで関わりのあるケースであった。相談者に今後とも見守りを続けていただくよう依頼した。
		・近所で1人暮らしをしている方が、最近同じ話を繰り返している様子があり、心配であるとの相談。地域包括支援センターの職員が状況確認の為に訪問する旨を伝える。
		・府中街道近辺で多量の荷物をカートに乗せて歩いており、道路を左右確認せずに渡るなど心配な様子があったとのこと。民生委員と連絡を取り、情報共有を行う。地域包括支援センターでも対応する旨を伝える。
		・近隣の高齢者が見かけることが無くなったので自宅を訪問したところ体調が悪そうであったとの連絡。包括職員が訪問した際は体調が安定しており、高齢者見守り事業に登録。見守り対象者として継続して関っていく。
		・近隣の高齢者夫婦の体調が悪そうで心配であるとの相談。確認したところ要支援認定を受けており、地域包括が担当していた。担当者が様子を確認し、相談者には今後とも見守りを依頼する。
中央西	11	・地域で活動している見守り隊が訪問しているが、攻撃的な言動が続いており心配との相談。地域包括支援センターが訪問し、配食サービスや介護予防教室等の案内を行う。今後も継続して訪問することに了承いただいた。
		・近隣に住む男性、何らかの障害がある様子であったが、最近奇行が目立つようになり、警察が対応している。何か支援が入っていないかとの問い合わせ。確認したところ、障がい者支援課で対応している方であった。障がい者支援課から情報提供を行うとの事。
		・高齢者夫妻のうち、夫が認知症で身なりや言動を近隣住民に怖がられている。夫に「認知症があると思う」という事を伝えても良いか、また妻は相談先がない様子で心配であるとの相談。対応について助言を行う。
		・近所の高齢女性を、同居していた長女が亡くなってから孫が介護している高齢者について。地域包括支援センター職員が訪問し、区分変更申請、福祉用具等のサービス利用へつなげた。
		・府中街道近辺で高齢の女性が多量の荷物をカートに乗せて歩いており、道路を左右確認せずに渡るなど心配な様子があったとの相談。確認したところ、西圏域の住民であった為、地域包括支援センターへやきの郷へつなげる。
		・家の帰り道が分からないと薬局に来店。氏名から住所がわかったので見守りボランティアがご自宅まで送り届けたとの連絡。要介護の認定を受けていたため、地域包括職員から担当のケアマネジャーに報告した。
		・以前から継続して相談している方が自治会の集まりにきたが、やはり以前とは違う様子であったため心配との相談。地域包括職員が再度訪問し、緊急医療情報キットを案内する。後日再度訪問予定。

		<p>・認知症のご本人宅の電気とガスが止まってしまったとの相談を自治会長から受け、一緒に自宅内にて請求書を探し、支払いを手伝ったとの連絡。包括でも関わりのある方であったため情報共有している。</p> <p>・自治会の見守り活動で訪問した高齢者。家族の支援でなんとかやっていたが、家族が病気になり、困っているとの連絡。確認したところ地域包括で関わりがあり、要支援認定を受けていた。包括が近日中に訪問することにした。</p> <p>・近隣に住んでいる独居の高齢者が、最近日暮れまで外で佇んでいることがあり、心配との連絡。確認したところ介護保険申請等はしておらず、民生委員に問い合わせを行った。民生委員にも確認し、引き続き見守りを継続していくこととした。</p> <p>・以前から見守っている独居の高齢者宅に、警察官が数人来ているところを見かけた。その後、相談者宅にも警察官が来て、防犯カメラの有無等を尋ねられた。本人の様子は変わらないが心配であるとの相談。包括が本人宅を訪問することとする。</p>
中央	2	<p>・近隣に住む高齢者の家から大声が聞こえるとの相談。継続して関わっているケースであり、認知症の本人と息子の二人暮らしであることを確認している。今後も継続して関わっていく</p> <p>・福祉会館の近隣で高齢者が辛そうに歩いている方がいるとの連絡。地域包括支援センター職員が声を掛けるところ、以前圧迫骨折をしたところを痛めてしまったとのこと。タクシーでの帰宅・受診を促し、圏域を担当している小川ホームへ情報提供を行った。</p>
中央東	2	<p>・上の階に住んでいる住民の生活全般の手伝いをしている。ゴミ出し等心配な点があるとの相談。確認したところ、地域包括支援センターで関わりのある方であった。地域包括支援センターが関わっていることを伝え、今後も見守りをさせていただくよう依頼する。</p> <p>・近隣に住む高齢者夫妻のうち、妻が入所（詳細不明）した様子で夫が1人になってしまった。今後地域の自治会で見守りを実施していくとの情報提供。</p>
東	5	<p>・高齢者夫妻のうち妻が認知症であり、食事の支度もできず困っていると夫から相談されたとの連絡。妻に要介護の認定が出たため、居宅介護支援事業所に引継ぎ、訪問を行う予定。</p> <p>・90歳独居の高齢者が近隣におり、息子が時々訪問している様子だが心配であるとの連絡。地域包括支援センター職員が本人宅へ訪問したところ、自立して生活しているため、今のところ大丈夫との返答を受ける。</p> <p>・近隣に郵便受けに郵便物が溜まっている住宅がある。デイサービスのバスが来ていたこともあり、どんな様子なのか気になるとの連絡。確認したところ、地域包括で関わっていた事のあるケースであり、現在入院中であることが分かった。</p> <p>・買物時に見かけている独居の女性がいるが、歩行が困難な様子で心配であるとの相談。相談いただいた見守りボランティアから地域包括支援センターの案内をしていただき、連絡を待つ。連絡が無ければ地域包括職員が自宅へ訪問予定。</p> <p>・デイサービスに行きたいと相談を受けたとの連絡。本人にはケアマネジャーもついている様子だが、どこにも通っていないとのこと。地域包括職員が本人宅を訪問し、デイサービスの見学を調整した。</p>
合計	27	

(2)地域ケア会議推進事業

①事業内容

地域包括支援センターの包括的・継続的ケアマネジメント業務の効果的な実施のために介護支援専門員、保健医療及び福祉に関する専門知識を有する者、民生委員、その他の関係者、関係団体により構成される会議(地域ケア会議)を設置します。地域ケア会議の積極的な活用により、ネットワークの維持や、拡充に努めます。

②実績

《地域ケア個別会議》

(1)生活援助の訪問回数の多いケアプランの検証

検証プラン数	4件
--------	----

(2)介護予防に資するケアプランの検討

検証プラン数	4件
--------	----

(3)困難ケースの事例検討(個別事例の検討)

けやきの郷	1件
小川ホーム	4件
多摩済生ケアセンター	3件
小平健成苑	1件
中央センター	1件
合計	10件

《地域ケア推進会議》

(1)生活体制整備事業協議会

第1層協議会 3回

日程	内 容
5月8日	①11月16日開催の認知症フォーラムでの周知啓発方法について、②今年度の協議内容の検討
9月4日	①認知症フェス2019について②小平市生活支援体制整備事業の課題を考える
11月6日	①社会資源一覧について②各圏域におけるコーディネーターの活動状況について③勉強会の振り返り
2月26日	令和元年度の取組まとめ、次年度に向けて(中止)

第2層協議会 51回

けやきの郷	6回
小川ホーム	4回
多摩済生ケアセンター	25回
小平健成苑	7回
中央センター	9回
合計	51回

(2)圏域内でのテーマ設定型会議

圏 域	回数	テーマ
けやきの郷	4回	認知症になっても地域で暮らせる「共生」について(上宿地域) 認知症になっても地域で暮らせる「共生」について(一小地域) 地域課題の共有・小平市の認知症施策情報共有
小川ホーム	0回	(※2/27日開催予定「介護におけるペットの問題」中止)
多摩済生ケアセンター	2回	孤立死しない自信はありますか？ ～誰かとつながるためにあなたができること～(大沼地域) 孤立死しない自信はありますか？ ～誰かとつながるためにあなたができること～(上水南地域)
小平健成苑	1回	花小金井地域の支え合いについて
中央センター	1回	いつまでも地域の人と支え合って暮らしていくために
合計	8回	

(3)基幹型地域ケア会議

開催日	テーマ
2月17日	「誰もが悩む複合的な課題を抱える家族への対応支援のために ～連携体制のあり方について考える～」

(3)認知症総合支援事業

①事業内容

認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、認知症の人とその家族を支援する事業を行います。

②実績

I オレンジカフェ(認知症カフェ、地域包括支援センター開催)

○各地域包括支援センターで、月に1回開催しています。2、3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部中止

	回数	本人	家族	地域	関係者	合計
けやきの郷	10回	19人	15人	225人	2人	261人
小川ホーム	10回	70人	2人	175人	1人	248人
中央センター	11回	14人	12人	52人	3人	81人
多摩済生ケアセンター	11回	16人	2人	109人	6人	133人
小平健成苑	11回	33人	45人	152人	3人	233人
合計	53回	152人	76人	713人	15人	956人

II もの忘れ相談会

○認知症についての医師による相談

回数	相談人数	相談結果(重複あり)		
		助言のみ	相談会報告書発行	関係機関連絡、継続支援
4回	10人	2	3	5

※3月予定中止

III 認知症地域支援推進員

○家族、近隣、地域包括支援センター等からの相談を受けて支援を行います。

相談件数		訪問件数	
実数	件数	実数	件数
35件	延べ266件	11件	延べ34件

○認知症初期集中支援チーム

実件数	訪問	電話対応	関係機関調整	カンファレンス	チーム員会議	その他会議等
1件	3回	23回	63回	1回	1回	3回

○認知症に関する会議

日時	会議名	内容	参加人数
12月19日	認知症対策会議	認知症相談会後のフォローアップ体制など	15人

○認知症に関する関係者向け研修
(中止)

○家族向け講座(全6回×2コース)

日時	内容	参加人数
5月13日～7月22日の6日間	認知症の家族介護者のための 認知行動療法講座	11人
10月7日～12月16日の6日間		13人

○認知症家族介護講演会

日時	内容	場所	参加人数
1月14日	認知症の基礎知識	福祉会館	28人
2月22日	認知症の介護ストレスと上手く付き合う方法	福祉会館	31人

○本人交流会:認知症の当事者同士の交流

日時	場所	参加人数
5月30日	中央公民館	17人
7月25日	福祉会館	12人
9月12日	中央公民館	19人
11月14日	中央公民館	10人
1月16日	福祉会館	8人

○介護者交流会:認知症の方の介護者の交流

日時	内容	場所	参加人数
5月20日	介護者交流会	福祉会館	9人
7月22日	認知症家族介護講座・介護者交流会	福祉会館	4人
10月28日	介護者交流会	健康福祉事務センター	14人
12月16日	認知症家族介護講座・介護者交流会	健康福祉事務センター	9人
2月17日	介護者交流会	福祉会館	10人

○もの忘れチェック会:物忘れチェック、認知症に関する講話

日時	場所	参加人数
6月25日	けやきの郷・中央	18人
7月23日	多摩済生化センター	17人
9月3日	中央センター	11人
1月28日	小川ホーム	16人
3月(中止)	小平健成苑	中止

Ⅳ こだいら認知症週間:11月11日(月)～16日(土)

実施日	事業名	内容	人数
11月11日～ 11月15日	認知症に関する情報コーナー (市役所1階正面エレベーター北側壁面)	認知症に関する記事の掲示	
11月11日	認知症サポーター養成講座(再掲)	市民向けの認知症を啓発するための講座	14名
11月13日	医師によるもの忘れ相談会(再掲)	医師による認知症に関する相談	2名
11月13日	オレンジカフェ(認知症カフェ)(再掲)	認知症の方とその家族、地域住民の懇談	9名
11月14日	認知症本人交流会	認知症の当事者同士の交流	10名 (内当事者3名)
11月15日	認知症声かけ模擬訓練 (花小金井駅周辺)	認知症のためにを外出し自宅に戻れなくなっている高齢者役の参加者を、他の参加者が道ですれ違う人に声をかけながら探すなかで、認知症の啓発を行う。	49名
11月16日	認知症フェス2019	認知症講演会「かあちゃんが倒れた」	81名
		もの忘れチェック会	14名
		在宅医療介護連携推進協議会 つながるカフェ	105名
		生活支援体制整備事業紹介ブース	95名

(4)在宅医療・介護連携推進事業

①事業内容

医療と介護との連携を推進することにより、病院から在宅医療への円滑な移行等を図り、自宅で療養生活を続けられるよう支援します。

②実績

I 幹事会

	日付	人数	参加者
第1回	4月24日	19	医師会、歯科医師会、薬剤師会、南台病院職員、訪問看護ステーション、ケアマネジャー、地域包括支援センター（基幹型）（研修事業担当）、権利擁護センター、高齢者支援課
第2回	7月3日	20	第1回に同じ
第3回	10月2日	20	第1回に同じ
第4回	1月29日	20	第1回に同じ

II 協議会

	日付	人数	参加者
第1回	5月22日	81	医師会、歯科医師会、薬剤師会、ケアマネジャー、地域包括支援センター、市内病院（6か所）、訪問介護事業所、リハビリテーション協議会、高齢者支援課、権利擁護センター、黎明会サービス総合センター
第2回	12月7日	81	第1回に加え、特別養護老人ホーム

III関係者向け講演会・研修会 年5回

日付	人数	内容	参加職種
6月7日	18人	ヘルパーのための「ターミナルケア」基礎編 ～看取りのケアの困りごと、一緒に考えてみませんか～ （東地域）	訪問介護
6月21日	28人	ヘルパーのための「ターミナルケア」基礎編 ～看取りのケアの困りごと、一緒に考えてみませんか～ （西地域）	訪問介護
10月8日	58人	終末期の食形態と摂食方法を学ぶ（実践編）	歯科医師、通所介護、訪問介護、ケアマネ他
11月29日	67人	人生の最終段階におけるリハビリとは？実践編	リハビリ、訪問看護、ケアマネ他
2月1日	42人	終末期における服薬サポートを学ぶ ～明日から使える知識と技術～	薬剤師、訪問看護、ケアマネ、介護職他

IV多職種研修会 年2回

日付	人数	内容
10月19日	67人	「ACP」を通して本人の想いを支える～それぞれの役割と連携を考える～（西地区）
2月15日	63人	「ACP」を通して本人の想いを支える～それぞれの役割と連携を考える～（東地区）

V市民向け講演会等 年3回

○市民セミナー 年3回

日付	場所	人数	内容
10月4日	東部市民センター	43人	人生の終わりについて考えてみませんか —看取りのための基礎知識—
1月25日	福祉会館 市民ホール	181人	人生最期の1か月 —からだところにおこること—

○認知症フェス2019事業

日付	場所	人数	内容
11月16日	福祉会館 第1集会室	105人	～在宅医療・介護～ つながるカフェ

(6)パンフレット発行

- ・パンフレット「こだいら健康ガイド」(健康推進課にて発行 全戸配布)
- 「在宅医療機関が必要な方」「病院・診療所等一覧表」作成

(7)在宅医療連携調整窓口

○相談件数 集計

相談実件数		36 件
相談延べ件数		117 件
延べ件数 内訳	電話	115 件
	その他	2 件

○相談者

病院(市内)	病院(市外)	医院	ケアマネ	包括	介護事業所	市役所	その他
4 件	9 件	0 件	11 件	8 件	1 件	1 件	2 件

(8)資源調査

- 在宅医療に関する資源調査(小平市医療・介護情報検索サイトに関する調査同時実施)

(9)情報共有

- ICTを活用した情報共有ツールの利用状況調査
- 在宅療養連携推進マニュアル作成

(10)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制構築

- 小平市在宅療養後方支援病床の確保及び利用に関する協定の検討

(5)生活支援体制整備事業

①事業内容

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、NPO法人、民間企業、協同組合、ボランティア、社会福祉法人、社会福祉協議会、地縁組織、介護サービス事業所、高齢者クラブ、商工会、民生委員児童委員等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていきます。

②実績

I 第1層生活支援コーディネーター（地域包括支援センター中央センターに1名配置）

活動実績（延べ）

相談・活動把握	会議	連絡・調整	研修	2層との連携	CSWとの連携	その他
54 回	53 回	236 回	2 回	72 回	24 回	276 回

II 第1層生活支援体制整備事業協議会

開催日	内容
5月8日	今年度の取り組み、昨年度の活動報告、事業周知イベントの検討
9月4日	社会資源一覧の確認、2層の活動報告、認知症週間連携企画の検討、勉強会について
11月6日	社会資源一覧の確認、2層の活動報告、認知症フェス2019について、勉強会の振り返り
2月22日	まとめ（第2層生活支援コーディネーターが収集した情報をふまえて）

協議会メンバー：ボランティア・市民4名、学識経験者1名、民生委員・児童委員2名、NPO法人1名、商工会1名、市民活動支援センター1名、介護支援専門員1名、社会福祉協議会1名、地域包括支援センター2名、障がい者施設1名

III 第2層生活支援コーディネーター（地域包括支援センターに延べ9名配置）

活動実績（9名延べ）

相談・活動把握	会議	連絡・調整	研修	1層との連携	CSWとの連携	その他
1,124 回	364 回	709 回	38 回	63 回	59 回	155 回

IV 第2層生活支援体制整備事業協議会

各圏域において、勉強会や小地域の懇談会などを経て協議会を立ち上げ

○けやきの郷

協議会6回

日時	場所	主な協議事項	参加者数
6月6日	中島地域センター	中島町住民向け説明会「カフェを作ろう」について	10人
7月24日	中島地域センター	「中島町にささえあいの居場所をつくりませんか」	29人
8月7日	中島地域センター	「中島町にささえあいの居場所をつくりませんか」	10人
9月11日	中島地域センター	今後の活動について	8人
11月6日	けやきの郷家族介護教室	中島町の振り返り、カフェなかじまの進捗	11人
1月15日	上宿公民館	上宿公民館での居場所づくりについて	10人

○小川ホーム

協議会4回

日時	場所	主な協議事項	参加者数
5月23日	小川ホーム食堂	公共施設を利用した居場所、商店街を利用した居場所等について	26人
8月22日	小川ホーム食堂	小川ホーム食堂を使った居場所、マップの記載内容の検討など	24人
11月21日	小川ホーム食堂	居場所立ち上げ、街歩きについて、シルバーピアについて等	19人
2月20日	小川ホーム食堂	おがワンフェスティバル振り返り、ブリヂストンからの説明等	23人

○中央センター

協議会9回

日時	場所	主な協議事項	参加者数
4月16日	健康福祉事務センター	昨年度の振り返り、周知啓発方法	14人
5月21日	健康福祉事務センター	第1回協議会の振り返り、広報物の内容の検討	13人
6月18日	健康福祉事務センター	周知啓発方法・掲載場所についての検討	11人
7月16日	健康福祉事務センター	周知物配布後の反応について、状況報告	15人
9月10日	健康福祉事務センター	地域からの声の報告、実現可能な支えあい活動について	12人
10月15日	健康福祉事務センター	地域でできそうな支えあいの活動について	10人
11月19日	健康福祉事務センター	ほっこり支えあい隊活動	10人
12月17日	健康福祉事務センター	ほっこり支えあい隊活動について、居場所について	12人
1月21日	健康福祉事務センター	ほっこり支えあい隊活動について、居場所について	13人

○多摩済生ケアセンター（仲町）

協議会15回

日時	場所	主な協議事項	参加者数
4月17日	二小高齢者交流室	自己紹介、まるっと仲よし隊の説明、イベントについて	13人
5月14日	そんぽの家小平仲町	三小バザー参加について	14人
5月20日	そんぽの家小平仲町	三小バザー参加について	12人
6月5日	そんぽの家小平仲町	三小バザー参加について	11人
6月18日	そんぽの家小平仲町	三小バザー参加について	12人
7月16日	二小高齢者交流室	三小バザー振り返り、今後の活動について	10人
8月8日	そんぽの家小平仲町	ハロウィンイベントについて	10人
8月28日	二小高齢者交流室	ハロウィンイベントについて	12人
9月11日	そんぽの家小平仲町	ハロウィンイベントについて	13人
9月30日	二小高齢者交流室	ハロウィンイベントについて	16人
10月11日	そんぽの家小平仲町	ハロウィンイベントについて	16人
11月8日	二小高齢者交流室	今後のまるっと仲よし隊の方向性や活動	15人
12月11日	そんぽの家小平仲町	目標、目的の確認、生活課題の把握について	13人
1月20日	二小高齢者交流室	地域でのイベント実施について	13人
2月10日	そんぽの家小平仲町	6月イベントについて	13人

○多摩済生ケアセンター（美園）

協議会10回

日時	場所	主な協議事項	参加者数
4月26日	ぷらちな広場	居場所についての話し合い	11人
5月24日	イリーゼ小平	今後の美園町について必要なもの、場所について	7人
6月28日	イリーゼ小平	今後のつながろう美園のあり方について	6人
7月26日	イリーゼ小平	活動内容周知、参加者募集のための配布について	10人
8月23日	イリーゼ小平	活動内容周知、参加者募集のための配布について	7人
9月27日	イリーゼ小平	地域で配布するチラシの検討	5人
10月25日	イリーゼ小平	協議会の周知方法、今後のつながろう美園について	5人
11月15日	イリーゼ小平	協議会の周知方法	8人
12月13日	イリーゼ小平	これまでの振り返りと今後について	11人
1月24日	イリーゼ小平	今後の活動について	7人

○小平健成苑(回田・御幸)

協議会5回

日時	場所	主な協議事項	参加者数
5月25日	あおぞら福祉センター	前回のふり返し、名簿作成、地域資源の把握・共有	10人
7月26日	あおぞら福祉センター	記入した地域資源を利用した白地図の活用について	9人
9月20日	あおぞら福祉センター	他圏域の協議会の活動について報告、意見交換	9人
11月22日	あおぞら福祉センター	居場所について	11人
1月31日	あおぞら福祉センター	居場所立ち上げについて	8人

協議会2回

日時	場所	主な協議事項	参加者数
9月4日	小平福祉園	地域支えあい交流会(準備会)の振り返り グループワーク	23人
12月4日	小平福祉園	助け合いゲーム グループワーク	16人

V生活サポーター養成講座

・介護予防・日常生活支援総合事業のサービスの担い手の養成

(主な内容)介護保険制度、高齢者に多い病気・介護予防、認知症サポーター養成講座、傾聴、家事援助の実際、今後の活動についての4日間の講座

とき	実施場所	受講者	登録者
6月14日～28日	中央公民館	9人	8人
9月10日～20日	福祉会館	14人	14人
12月12日～20日	福祉会館	16人	11人
合計	3コース	39人	33人

※令和元年度末累計 受講者191名 現在登録者172名

包括的支援事業・任意事業：2任意事業

(1)介護相談員派遣等事業

①事業内容

介護相談員が、介護サービスの提供の場を訪ね、利用者の相談に応ずる等の活動を行うことにより、苦情に至る事態を未然に防止すること及び利用者の日常的な不平、不満又は疑問に対応して改善の途を探り、介護サービスの質的な向上を図ることを目的とする。

②実績

介護相談員	14人
訪問施設	9施設
実施回数	154回
面接人数	2,164人
介護相談調整会議	11回

(2)介護給付費適正化事業

①事業内容

利用者向けの介護給付費通知書の発行、住宅改修工事の現地調査、介護サービス事業者への指導を行い、介護保険サービスの適正な給付を図ることを目的とする。

②実績

介護給付費通知書発送件数	5,954件
住宅改修訪問調査件数	0件
実地指導実施事業所数	6事業所

(3)ケアプラン指導研修事業

①事業内容

小平市における保健・医療・福祉の専門家等からなる指導チームが、介護サービス事業者を対象として、具体的なケアプラン事例調査及び指導並びにケアプラン作成技術向上のための支援を行い、ケアプラン及び介護サービスの質的な向上を図ります。

②実績

	日付	テーマ	参加人数	参加事業所数
ケアプラン研修	6月4日	ケアプラン個別研修(前期) 1日目	20人	18 事業所
	6月18日	ケアプラン個別研修(前期) 2日目	20人	18 事業所
	7月2日	ケアプラン個別研修(前期) 3日目	20人	18 事業所
	7月5日	心に寄り添う面接技術～親身なニーズアセスメントとは	87人	37 事業所
	11月29日	精神疾患の正しい理解と関わり方～支援のポイントをつかもう	64人	30 事業所
	1月21日	リハビリの視点から考えるケアマネジメント～自立支援・重度化防止を図るために	57人	33 事業所
	11月14日	ケアプラン個別研修(後期) 1日目	20人	15 事業所
	11月26日	ケアプラン個別研修(後期) 2日目	20人	15 事業所
	12月3日	ケアプラン個別研修(後期) 3日目	20人	15 事業所
	2月28日	慢性心不全について学ぼう～心臓の病気を持つ方の生活を支えるために	中止	
主任ケアマネジャー研修	9月4日	基礎から学ぶスーパービジョン～選ばれるケアマネになろう 第1回目	33人	23 事業所
	10月1日	基礎から学ぶスーパービジョン～選ばれるケアマネになろう 第2回目	31人	21 事業所
地域包括支援センター研修	10月11日	事例検討	37人	5 事業所
	2月28日	ファシリテーションについて学ぶ	中止	
延べ参加人数			429人	248 事業所

(4)居宅介護支援事業者等助成

①事業内容

居宅介護支援事業者等に対し、住宅改修の利用援助を行ったことについて助成を行い、円滑なサービス利用の促進を図ることを目的とする。

②実績

助成件数	109件
------	------

(5) 家族介護教室事業

① 事業内容

高齢者を介護している家族等を対象に教室を開催し、介護方法や介護予防の知識、技術を習得してもらうこと及び心身のリフレッシュを図ります。

② 実績

包括名	実施日	内 容	講 師	参加者数
けやきの郷	6月13日	在宅療養って何だろう～通院できなくなったらどうするの	包括職員	22人
	1月30日	認知症サポーター養成講座	包括職員	11人
	2月13日	カルシウムアップ～骨粗しょう症予防	三ヶ尻聡美 (管理栄養士)	36人
小川ホーム	5月23日	認知症サポーター養成講座	包括職員	11人
	9月26日	男性介護者のためのおむつのあて方・選び方	末藤真希子 (おむつアドバイザー)	15人
	3月24日	介護施設の基礎知識	中止	—
中央 センター	7月20日	はじめてのおむつ選び～突然始まるかもしれない介護	牧野美奈子(NPO法人日本コンチネンス協会)	25人
	9月27日	認知症サポーター養成講座	包括職員	16人
	1月24日	在宅療養って何だろう～通院できなくなったらどうするの	包括職員	31人
多摩済生ケ アセンター	10月18日	アンガーマネジメントを学ぶ(介護でのストレスとうまく付き合う方法)	大谷美和(日本アンガーマネジメント協会)	20人
	10月22日	老後の住まいを考える	宇治弘典(東京ロイヤル株)	18人
	1月13日	認知症サポーター養成講座	包括職員	9人
小平健成苑	7月24日	認知症サポーター養成講座	包括職員	33人
	12月17日	振り込め詐欺などの特殊詐欺の被害状況や防犯について	小平警察署員	9人
	12月18日	悪質商法の手口・被害発見のポイントと対応	小平市消費生活センター 相談員	5人
合計			14回	261人

(6)徘徊高齢者家族支援事業

①事業内容

GPSを使った位置探知システムの利用助成、およびお出かけ見守りシール(QRコードを読み込むことにより介護者と発見者が伝言板を通して直接やり取りができるシール)の支給を行い、高齢者の早期発見及び安全の確保を図るとともに、介護者の精神的・経済的負担の軽減を図ります。

②実績

I GPS端末利用件数

利用者数	18件
------	-----

II お出かけ見守りシール利用件数

利用者数	25件
------	-----

(7)高齢者成年後見制度利用支援事業

①事業内容

判断能力が不十分となり、援助が必要になった高齢者に対して、成年後見制度の 申立て事務や制度利用に要する費用を負担することにより、高齢者が安定した生活を継続できるように支援します。

②実績

I 市長申立て

件数	8件
----	----

II 成年後見制度等費用助成

後見人報酬助成	19件
---------	-----

・申立てにかかる費用の助成

(対象)生活保護受給者、またはこれに準じるもの

(助成額)申立て費用は裁判所が定める額、鑑定費用は10万円まで

・後見人報酬助成

(対象)被後見人の預金が概ね75万円以下で、1年間の収支が赤字

(助成額)月1万円まで(ただし業務内容により月2万円まで)

包括的支援事業・任意事業：2任意事業

(8) 認知症サポーター養成事業

①事業内容

キャラバンメイトによる認知症サポーター養成講座を通して、認知症に関する知識を普及啓発することで、認知症の人とその家族が安心して暮らせる地域づくりを行います。

②実績

開催日	受講団体	参加人数
4月17日(水)	りそな銀行新入職員	216人
4月18日(木)	NPO法人移動サービス バイユアセルフ 事業所職員	14人
4月18日(木)	介護予防体操の会(一般市民)	4人
5月15日(水)	デイサービス職員	8人
5月23日(木)	家族介護教室(一般市民)	11人
6月12日(水)	救護施設職員	31人
6月25日(火)	生活サポーター養成講座受講者	10人
6月25日(火)	一般市民	33人
6月26日(水)	学園交友サロン	17人
7月16日(火)	社会福祉協議会職員	10人
7月24日(水)	家族介護教室(一般市民)	33人
8月9日(金)	シルバー大学	11人
8月22日(木)	カフェ風のシンフォニースタッフ	7人
9月11日(水)	萩山自治会	5人
9月12日(木)	ツクイデイサービス職員	8人
9月12日(木)	小平市民・市内在勤(市民キャラバンメイト)	21人
9月17日(火)	生活サポーター養成講座受講者	14人
9月27日(金)	家族介護教室(一般市民)	16人
9月30日(月)	国立精神・神経医療研究センター職員	10人
10月16日(水)	西武信用金庫職員	51人
10月16日(水)	一般市民	10人
10月17日(木)	小平福祉園職員	18人
11月1日(金)	白梅大学学生	80人
11月11日(月)	市内在住・在勤	14人
11月22日(金)	西武信用金庫職員	50人
11月29日(金)	中央リハビリテーション病院 多摩地区病院職員	57人
12月4日(水)	シルバー大学OB楽遊会	18人
12月5日(木)	市職員	26人
12月12日(木)	一般市民	10人
12月19日(木)	生活サポーター養成講座受講者	14人
12月19日(木)	みずほ銀行八坂支店職員	20人
1月13日(月)	家族介護教室(一般市民)	9人
1月17日(金)	シニア講座受講者	24人
1月23日(木)	西武信用金庫職員	79人
1月28日(火)	特別養護老人ホームさくら野杜職員	30人
1月30日(木)	家族介護教室(一般市民)	11人
2月24日(月)	マンション管理組合	21人
合計	37回	1,021人

(再掲)

受講対象	回数	人数	詳細
市事業における実施	3 回	38人	生活サポーター養成講座
市報広報による希望者	8 回	124人	
大学生	1 回	80人	白梅大学
企業関係	6 回	426人	銀行、信用金庫、団体職員
介護関係事業所	6 回	109人	特別養護老人ホーム、アイサービス、障がい事業所等
病院	2 回	67人	市内病院職員
地域住民関係	10 回	151人	自治会、マンション管理組合
市職員	1 回	26人	市職員研修
合 計	37 回	1,021人	

○キャラバンメイト連絡会

開催日	参加者数	テーマ・内容
3月3日	(中止)	実績報告、認知症サポーター養成講座実施について